

令和9年度

学生募集要項

2027

大学院

医工学社会共創研究科 (博士後期課程)

医工学社会共創専攻

■ 医療情報共創学領域

■ 医療システム共創学領域

■ 社会医療共創学領域



藤田医科大学大学院医工学社会共創研究科

FUJITA HEALTH UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICAL ENGINEERING FOR SOCIAL CO-CREATION

目次

概要(アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー)・・・	1
1. 募集人員と出願日程・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2. 出願資格・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3. 入学資格審査・・・・・・・・・・・・・・・・	4
4. 出願手続・・・・・・・・・・・・・・・・	5
5. 選抜方法・・・・・・・・・・・・・・・・	7
6. 試験日程及び試験会場・入試科目・・・・・・・・	8
7. 合格発表・・・・・・・・・・・・・・・・	8
8. 入学手続・・・・・・・・・・・・・・・・	8
9. 学費納入金・・・・・・・・・・・・・・・・	9
10. ティーチング・アシスタント、リサーチ・アシスタント制度・・・	10
11. 奨学金・経済的支援・・・・・・・・・・・・・・・・	10
12. 修了の要件・・・・・・・・・・・・・・・・	10
13. 長期履修学生制度・・・・・・・・・・・・・・・・	10
14. 医工学社会共創研究科博士後期課程における特別研究の内容(2027年度予定)・・・	11
15. インターネット出願方法・・・・・・・・・・・・・・・・	14
16. 受験上・修学上の配慮を希望される方へ・・・	16
17. 受験者注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・	17
18. 入試に関する個人成績の開示について・・・	18
19. 個人情報保護について・・・・・・・・・・・・・・・・	18
20. 試験会場地図・・・・・・・・・・・・・・・・	19
21. 交通案内・・・・・・・・・・・・・・・・	20

最先端の医工学技術を実際の医療や社会に役立てるためには、技術開発だけでなく、医療制度や薬事・保険制度、医療機関等における実際の活用・運用、倫理的課題への理解も必要です。本研究科では、医学・工学・情報科学を基盤に、「社会共創」の視点を取り入れた学際的な教育を通じて、技術開発から社会実装までを担うイノベーション人材を育成します。

アドミッション・ポリシー

本研究科の理念と教育目標を理解し、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を修得する強い意志を持つ、多様な背景の学生を国内外から広く求める。

AP1: 国際的な研究動向理解・分析する力

専門分野において修士課程修了相当の知識・技能を有し、学術文献を通じて研究動向を把握・分析するための能力を備えている者。

AP2: 研究遂行能力

修士課程を修了相当の研究経験を有し、その成果を論文や学会で発信するための能力を備えている者。

AP3: 課題設定力と探究力

医療現場や実社会の複雑な課題を研究課題として設定し、自立的に探究を進めるための思考力や判断力を備えている者。

AP4: コミュニケーション能力

多様な専門性を持つメンバーと議論を行うためのコミュニケーション能力を有し、他者の意見を踏まえて自らの考えを表現し、協働して研究を遂行するための素養を備えている者。

AP5: チームマネジメント力

研究活動に主体的に取り組む姿勢を有するとともに、将来的に研究チームの一員として、あるいはリーダーとして研究を推進し、学術的・社会的価値の創出に貢献する意欲と素養を備えている者。

性、人種、宗教、性的指向、社会経済的地位、身体能力の如何によって、入学に関する優先性が影響されることはありません。
－禁煙への取り組み－ 藤田医科大学では、人々の健康を守る医療職者を育成する大学として、入学者は喫煙しないことを約束できる方とします。

カリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を涵養するため、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施する。

CP1: 国際的研究動向の理解と分析力を育成する科目の設置

企画提案力を養うため、先端的な学際分野に関する国際的な研究動向を把握するための文献調査・情報収集・分析手法を学ぶカリキュラムを提供する。

CP2: 高度専門科目の設置

学術的意義・新規性・創造性を重視した研究指導により、独自の研究テーマに基づく論文執筆・学会発表を通じて高度専門性を育成するカリキュラムを提供する。

CP3: 独立した研究遂行能力を強化する科目の設置

研究課題の設定から成果発信までを一貫して行う個別研究指導により課題解決力を高め、博士論文作成の指導を行うカリキュラムを提供する。

CP4: 合意形成能力を育成する科目の設置

多様な専門性を持つメンバーとのディスカッションを通じてメンバー間での相互理解を図り、研究を円滑に遂行するための合意形成を行うコミュニケーション能力を養うカリキュラムを提供する。

CP5: チームマネジメント力を育成する科目の設置

多様な専門性を持つメンバーから成る研究チームでリーダーシップを発揮し、主体的に研究を遂行する能力を養うカリキュラムを提供する。

ディプロマ・ポリシー

藤田医科大学大学院 医工学社会共創研究科博士後期課程にあっては、3年以上在学して14単位以上を修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対し、「博士（医工学社会共創）」の学位を授与する。

DP1：企画提案力

先端的な学際分野を開拓するための国際的研究動向に関する情報収集力と分析力を持ち、その知識を活かして当該分野の課題を解決するに至る道筋を提案できる能力を身につけている。

DP2：高度専門性

学術的意義・新規性・創造性に優れた研究を遂行でき、専攻分野での学術研究の発展に大きく貢献できる能力を身につけている。

DP3：課題解決力・発信力

自らが設定した独創的な研究課題に対し独力で研究活動を展開することにより、その成果を国際的に発信する能力を身につけている。

DP4：コミュニケーション能力

多様な専門性を持つメンバーとの間で相互理解を図り、研究を円滑に遂行するための合意形成を図る能力を身につけている。

DP 5：チームマネジメント力

多様な専門性を持つメンバーから成る研究チームでリーダーシップを発揮し、医工学における社会実装を実現できる能力を身につけている。

1. 募集人員と出願日程（社会人特別選抜を含む）

専攻名	募集人員
医工学社会共創専攻	10名

出願から入学までの日程

事項	日程	
	第一次募集	第二次募集
入学資格認定申請期間 (入学資格審査の必要な者)	2026年10月23日(金) ～10月30日(金)	2027年1月8日(金) ～1月15日(金)
入学資格審査結果発送	2026年11月6日(金)	2027年1月22日(金)
出願期間	2026年11月6日(金) ～11月20日(金)	2027年1月22日(金) ～2月5日(金)
試験日	2026年11月29日(日)	2027年2月13日(土)
合格者発表	2026年12月7日(月)	2027年2月22日(月)
学納金納付期限	2026年12月14日(月)	2027年3月1日(月)

(注1) 第一次募集で定員が充たされた場合は、第二次募集を行わないことがあります。

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2027年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月31日までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月31日までに取得見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月31日までに取得見込みの者
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者(平成元年文部省告示第118号)
- (7) 本研究科委員会において、個別の資格審査により上記の(1)に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに24歳に達する者

(注) 1. 出願資格(2)～(7)により出願しようとする者は、出願手続き前に大学院医工学社会共創研究科入試係へ連絡してください。

2. 出願資格(6)、(7)により出願を希望する者については、事前に入学資格審査を行います。

P.4「3. 入学資格審査」参照。

3. 入学資格審査

入学資格(6)、(7)により出願を希望する者は、入学資格審査が必要となります。必ず希望する特別研究担当教員(P.11～P.13特別研究の内容参照)と連絡を取ったうえで、下記要領により必要書類を受付期間内に持参又は郵送し、入学資格審査を受けてください。

なお、本研究科所定の様式(A4サイズ)は本学ホームページ(TOP > 医工学社会共創研究科 > 入試情報よりダウンロードしてください。

1) 受付期間

	受 付 開 始 日	締 切 日	備 考
第 一 次 募 集	2026年10月23日(金)	2026年10月30日(金)	郵送の場合も 締切日必着の こと
第 二 次 募 集	2027年1月8日(金)	2027年1月15日(金)	

2) 提出書類

- (1) 入学資格審査申請書(本研究科所定の様式[A4サイズ]に記入)
- (2) 履歴書(本研究科所定の様式[A4サイズ]に記入)
- (3) 卒業証明書(2026年4月以降に、出身学校の所定用紙により発行者が原則厳封したもの)
- (4) 成績証明書(2026年4月以降に、出身学校の所定用紙により発行者が原則厳封したもの)
- (5) 研究業績調書(本研究科所定の様式[A4サイズ]に記入)
- (6) 研究歴証明書(本研究科所定の様式[A4サイズ]に記入)
- (7) 代表的な論文(写し可)
- (8) 返信用封筒(宛名を明記した定型封筒市販の長形3号(120mm×235mm)に宛名を明記し、切手760円分を貼付) 速達簡易書留にて審査結果を返信します。
(注) 1. 成績証明書等に記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、改名を証明できる書類(戸籍抄本等)を提出してください。
2. 書類保存期間経過等により(3)または(4)が発行できない場合は、出身学校作成の「証明書を発行できない旨の理由書」を提出してください。(様式任意)
3. 書類を提出するにあたっては、市販の角形2号(240mm×332mm)の封筒に入れ、封筒のおもてに「入学資格審査申請書在中」と朱書きしてください。郵送による提出は、必ず「書留速達郵便」としてください(締切日必着)。

3) 書類の提出先・問い合わせ先

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ケ窪1番地98
藤田医科大学大学院 医工学社会共創研究科 入試係(大学2号館3階)
TEL (0562) 93-2895 FAX (0562) 93-4593
土曜・日曜・祝日・開学記念日(10/10)など学内休日・年末年始(12/29～1/3)は受け付けていません

4) 審査結果の通知

審査結果は、郵送により本人宛に通知します。入学資格「有」と認められた者は、P.5～P.7「4. 出願手続」「4. 提出書類」(卒業証明書、成績証明書を除く)を取りそろえ、P.5「4. 出願手続」の「1) 出願方法」に従って提出してください。

〈第一次募集〉2026年11月6日(金) 結果発送

〈第二次募集〉2027年1月22日(金) 結果発送

4. 出 願 手 続

1) 出願方法

- (1) 出願前に必ず希望する特別研究の担当教員（P.11～P.13の特別研究の内容参照）に連絡を取ってください。
- (2) 出願はインターネットで行います。P.14～P.16「インターネット出願方法」の手順に従い、必要事項を入力、登録した後、入学検定料を「クレジットカード決済・コンビニエンスストア払い・ペイジー払い（銀行ATM）・インターネットバンキング」のいずれかにてお支払いください。
- (3) P.5～P.7「4）提出書類」を市販の角形2号（240mm×332mm）の封筒に入れ、封筒のおもてに「インターネット出願ガイダンス」から印刷した宛名ラベルを貼ってください。
- (4) 出願期間内に大学院医工学社会共創研究科入試係まで直接持参または郵送してください。（締切日必着）
郵送の場合は必ず「書留速達郵便」としてください。
- (5) 「インターネット出願の登録」「出願書類の提出」「入学検定料の支払い」が以下の期間内に完了していない場合は受験することができません。
- (6) 提出書類の虚偽の記載があった場合は、合格発表後においても入学許可を取り消すことがあります。

2) 出願期間

	受 付 開 始 日	締 切 日	備 考
第 一 次 募 集	2026年11月6日（金）	2026年11月20日（金）	郵送の場合も 締切日必着のこと
第 二 次 募 集	2027年1月22日（金）	2027年2月5日（金）	

3) 入学検定料 20,000円

○ 申込情報の登録期間・入学検定料支払期間

第一次募集 2026年11月6日（金）0時00分 ～ 2026年11月20日（金）16時59分

第二次募集 2027年1月22日（金）0時00分 ～ 2027年2月5日（金）16時59分

（注）上記の登録期間・支払期間を過ぎると、登録・支払いができません。

4) 提出書類

(1) 出願確認票	本学ホームページ（TOP > 医工学社会共創研究科> 入試情報「インターネット出願ガイダンス」から必要項目を選択し、個人情報等を入力後、A4サイズ of 用紙に印刷してください。 なお、「インターネット出願ガイダンス」の詳細についてはP.14～P.16「インターネット出願方法」を参照してください。
(2) 修了（見込）証明書	本研究科博士後期課程への出願資格を満たす大学院等の修了（見込）証明書を提出してください（通常は修士の学位を取得した大学院）。なお、証明書は2026年4月以降に、出身学校の所定用紙により発行者が原則厳封したものとします。 ○「2.出願資格」（P.3）(2)～(4)に該当する者のうち、学位取得した者 →修了証書の写しでも提出可とします。

(3) 成績証明書	本研究科博士後期課程への出願資格を満たす大学院等の成績証明書を提出してください（通常は修士の学位を取得した大学院）。 なお、証明書は2026年4月以降に、出身学校の所定用紙により発行者が原則厳封したものとします。 ○「2.出願資格」(P.3) (2)～(4)に該当する者のうち、学位取得した者 →成績証明書の写しでも提出可とします。
(4) 学位取得証明書	外国の大学院を修了した者は修士相当の学位を取得したことを証明する書類（学位取得証明書等）を提出してください。
(5) 外国語（英語）試験のスコアの証明書類	2024年4月1日以降に受験した下記のいずれかの外部試験のスコアを利用することが可能で、複数の試験結果を出願時に提出することができます。なお、最も得点が高く換算される試験結果を自動的に合否判定に採用します。 ○資格試験名 ・TOEIC L&R ※IPテストは不可 ・TOEFL iBT ※ITPは不可 Test Date スコアを有効とする（MyBest スコアは利用不可） ・IELTS アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 公式認定証（TOEIC L&RはQRコード付きデジタル公式認定証を印刷したものでも可）、試験成績通知書、いずれかの原本を提出してください（公式認定証、試験成績通知書は証書と異なります。証明書等の発行は、当該資格試験の事務局に問い合わせてください）。 IELTSの成績証明書の原本を提出できない場合は追加成績証明書を大学宛にテストセンターから直接送付いただくよう手続きしてください。 ○受理した証明書類については、いかなる理由があっても返還しません。
(6) 修士論文	修士の学位取得者のみ提出してください。 ・写し可。 ・昨年度以前の修了者は、最近の論文（写し可）をもって代えることができます。
(7) 研究経過報告書	修士の学位取得見込の者は、本研究科所定の様式（A4サイズ）を「インターネット出願ガイドンス」から印刷して、修士論文の研究題目と研究の進捗状況を要約したものを記入してください。
(8) 修士論文要旨	修士の学位取得者は、日本語（4,000字以内）又は英語（1,500語以内）の要旨を提出してください。（A4横書き、自由書式）
(9) 研究計画書	入学後に研究しようとしている内容及びその計画について、本研究科所定の様式（A4サイズ）を「インターネット出願ガイドンス」から印刷し、記入してください。 ※希望する特別研究担当教員と相談のうえ作成してください。
(10) 実務経験報告書	社会人特別選抜で受験する場合は、これまでの業務内容およびその中で担ってきた役割や本研究科において取り組みたい課題および志望動機等について、本研究科所定の様式（A4サイズ）を「インターネット出願ガイドンス」から印刷し、記入してください。
(11) 入学資格審査結果通知書の写し	P.3「2. 出願資格」(6)、(7)により出願する場合は提出してください。

(12) 在留カード、特別永住者証明書の写し	本邦に在留している外国人出願者は、「在留カード」もしくは「特別永住者証明書」の写し（両面カラー）を添付してください。本学に在学中の者も改めて提出してください。
(13) 就学承認書	在職したまま就学しようとする場合は、本研究所定の就学承認書（A4サイズ）を「インターネット出願ガイダンス」から印刷し、所属長の承認を得た上で提出してください。確認欄にチェックのうえ、提出してください。
(14) 出願書類チェックリスト	本研究所定の様式（A4サイズ）を「インターネット出願ガイダンス」から印刷し、確認欄にチェックのうえ、提出してください。

注1）成績証明書等に記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、改名を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出してください。

注2）書類保存期間経過等により(2)修了（見込）証明書または(3)成績証明書が発行できない場合は、出身学校作成の「証明書を発行できない旨の理由書」を提出してください（様式任意）。

注3）(7)研究経過報告書、(9)研究計画書、(10)実務経験報告書、(13)就学承認書、(14)出願書類チェックリストは「インターネット出願ガイダンス」から印刷してください。なお、「インターネット出願ガイダンス」の詳細についてはP.14～P.16「インターネット出願方法」を参照してください。

5) 願書受付場所・問い合わせ先

〒470-1192 愛知県豊明市杓掛町田楽ケ窪 1 番地98

藤田医科大学大学院 医工学社会共創研究科 入試係（大学2号館3階）

TEL (0562) 93-2895 FAX (0562) 93-4593

土曜・日曜・祝日・開学記念日(10/10)など学内休日・年末年始(12/29～1/3)は受け付けていません

6) 受験票の印刷

【印刷開始日】〈第一次募集〉2026年11月25日（水）17時00分

〈第二次募集〉2027年2月10日（水）17時00分

受験票は、試験当日必ず持参してください。

●P.16「**③受験票の印刷**」の手順に従って印刷してください。

5. 選 抜 方 法

学力試験、書類審査及び口述試験、提出書類によって総合的に判定、選抜します。

ただし、学力試験、書類審査及び口述試験いずれかの評価が著しく低い場合は不合格とします。

なお、学力試験の外国語（英語）は「TOEIC L&R（IPテストは不可）」、「TOEFL iBT（ITPは不可）」、「IELTS（アカデミック・モジュールによるスコアに限る）」のいずれかの外部試験のスコアを利用します。出願時に公式認定証（TOEIC L&RはQRコード付きデジタル公式認定証を印刷したものでも可）、試験成績通知書、いずれかの原本を提出してください。

1) 試験内容（一般選抜・社会人特別選抜）

(1) 学力試験

○外国語（英語） 以下のいずれかの外部試験のスコアを利用する。

TOEIC L&R（公開テストに限る。IPテストは不可。）

TOEFL iBT（ITPは不可）

IELTS（アカデミック・モジュールによるスコアに限る）

(2) 書類審査及び口述試験

書類審査

口述試験 提出した研究計画書をもとに研究計画について5分以内で発表してください。プレゼンテーションを行う際のパソコン等使用機器については、希望する特別研究担当教員と事前に打ち合わせをしてください。HDMIケーブルが使用できないノートパソコンを接続する場合、機器とHDMIケーブルをつなぐ専用の変換ケーブルが必要となりますので持参してください。配付資料については、持参する必要はありません。

2) 社会人特別選抜について

出願資格のある者で、民間企業、医療機関、官公庁等で入学時に3年以上の実務経験を有する者は社会人特別選抜による受験が可能です。

6. 試験日程及び試験会場・入試科目

- 1) 試験日 〈第一次募集〉2026年11月29日(日)
 〈第二次募集〉2027年2月13日(土)
- 2) 集合時間 9時30分
- 3) 試験会場 本学 大学2号館(第一次募集)、大学3号館(第二次募集)

4) 試験時間	時 間	10:00～12:45
	試験科目	口述試験

7. 合格発表

(1) 発表方法

本学ホームページに合格者の受験番号を掲載します。また、合格者に限り本人に郵送にて通知します。
電話等による合否についての問い合わせには一切応じません。

掲載期間 第一次募集 2026年12月7日(月)14時頃～2026年12月11日(金)正午
 第二次募集 2027年2月22日(月)14時頃～2027年2月26日(金)正午

(2) 補足事項

- ①ホームページへの掲載については、情報の安全性に万全を期していますが、データの改ざん、通信上のトラブル、システムの「誤作動」等が発生しても本学は一切の責任を負いません。なお、携帯電話の専用画面は用意しておりません。
- ②ホームページ掲載直後には、アクセスが集中し閲覧できないことがあります。その場合、しばらく時間をおいてから再度アクセスしてください。
- ③パソコンの設定によっては、最新情報が表示されない場合があります。このような場合にはブラウザの更新キーを押すなどして表示を最新のものとしてください。

8. 入学手続

- 1) 合格者は、合格通知書とともに送付する入学手続要領に従って入学手続を完了してください。
- 2) 入学手続要領に示す期限までに入学手続を完了しなければ合格を無効とします。
- 3) 入学者は、抗体価シート(予防接種歴・罹患歴)の提出が必要となります。抗体値によっては、入学時期に影響することがあります。

9. 学 費 納 入 金

- 1) 納入期限 〈第一次募集〉2026年12月14日(月)*
 〈第二次募集〉2027年3月1日(月)* ※二段階納入方式の1次納入期限

2) 納入額・納入方式

①納入額

入 学 金	150,000円
授 業 料	(年) 750,000円
授 業 料 減 免 制 度	(年) -200,000円
計	700,000円

②納入方式

二段階納入方式です。

学費納入金〈1次〉は、合格通知書とともに送付する入学手続要領に従って納付期限までに納入してください。また、残りの学費納入金〈2次〉は、振込用紙が3月中旬に発送されるので納入期限(3月末日)までに納入してください。〈1次〉〈2次〉共に納入期限までに納入を完了しない者は、入学を辞退したものと取り扱います。

	学納金納入期限〈1次〉	学納金納入期限〈2次〉
振込用紙の発送日	合格発表日	3月中旬
	425,000円	275,000円
納入額	内訳) 入学金 150,000円 学納金 275,000円 [学納金の1/2]	内訳) 学納金 275,000円 [学納金の1/2]
納入期限	上記1)に記載	3月末日

○一旦納入した学費は一切返還しません。ただし、入学手続きを完了した者で、**2027年3月31日(水) 17時00分(必着)**までに入学辞退届(任意作成)を提出し、入学時納付金の返還を申し出た場合には、入学金を除く授業料を返還します。

○学費納入金は、社会情勢によって次の年度に進むとき変更することがあります。

○長期履修学生制度を希望する場合は、P.10を参照してください。

3) 授業料減免制度について

本研究科に在籍する者及び入学予定の者に対して、授業料を減免する制度を設けており、年額750,000円の授業料を年額200,000円減額し、年額550,000円とします。

ただし、懲戒処分を受けた場合、規程に違反した場合、又は減免対象者として不適当と認められた場合には、取り消しとなります。

なお、制度については、変更の可能性がありますので、必ず規程を確認してください。

10. ティーチング・アシスタント、リサーチ・アシスタント制度

1) ティーチング・アシスタント制度

藤田医科大学大学院では、大学院学生が藤田医科大学の教育業務を補助することにより学部における教育効果を高めることと、大学院学生に教育指導の機会を与え後継者の育成を図るとともに奨学に資することを目的として、ティーチング・アシスタント（T・A）制度を設けています。

T・Aの手当は、授業時間1時間当たり3,000円とし、1コマ1.5時間として算定します。ただし、支給対象時間は、前後に準備や片付け等に要した時間を除く授業時間とします。また、T・Aの担当時間は年間180時間（120コマ）を上限とします。

2) リサーチ・アシスタント制度

藤田医科大学大学院では、大学院学生が藤田医科大学の行う学術研究で、かつ創造性に富んだ研究プロジェクト等を補助するため、博士後期課程の在学生によるリサーチ・アシスタント（R・A）制度を設けています。

11. 奨学金・経済的支援

1) 日本学生支援機構：第一種奨学金、第二種奨学金

2) 学校法人藤田学園奨学金、学校法人藤田学園同窓会奨学金など

3) MeRITコース

詳細は本学ホームページ（<https://www.fujita-hu.ac.jp/~merit/>）をご確認ください。

12. 修了の要件

必修科目4単位および選択科目10単位以上、合計14単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士学位論文の審査および最終試験に合格することを修了要件とする。専門科目で専攻した分野の特論、演習、特別研究の各科目は履修を必須とする。

13. 長期履修学生制度

長期履修学生制度とは、職業を有している等の諸事情により、大学院博士後期課程の教育課程を標準修業年限（3年）で履修することが困難な場合、標準修業年限を超えて4年・5年・6年のいずれかで修学することを認める制度です。

学費については、標準修業年限分の授業料を長期履修期間で除した額が年額となります。

14. 医工学社会共創研究科博士後期課程における特別研究の内容（2027年度予定）

*予定であり、変更の可能性あります。

1) 医療情報共創学領域

分野	授業科目名及び担当者	特別研究の内容及び研究テーマ
医用データ科学分野	応用医用データ科学 特別研究	（概要）医用データ科学分野において、学生が自立した研究者として独創的かつ高度な研究課題を設定・遂行し、その成果を博士論文としてまとめることを主目的とする。医用データ科学を基盤として、バイオデバイス、物理モデル、バイオインフォマティクス、生体信号解析など多様な研究領域において、医療課題の本質的解決に資する先導的な研究課題に取り組む。研究動向の批判的分析に基づく研究課題の設定、独創性や新規性を有する研究戦略の立案、精緻な実験・解析および考察を通じて、学術的および社会的に高い価値を有する成果を創出する。多様な専門家との協働を通じて研究チームを牽引し、困難な課題を解決するためのリーダーシップとプロジェクト遂行能力を育成する。学生は、必要に応じて、研究テーマに関連する他分野の教員から助言を受けることができる。国際学術誌への論文投稿、国際学会での発表、専門家との高度な学術的議論を通じて、国際社会に成果を発信できる研究を推進する研究者としての能力を涵養する。
	笠間敏博	（笠間敏博） 1. バイオデバイスを基盤としたマイクロ空間での特異的分子相互作用を利用した、迅速・低侵襲・低コストな次世代型微量検体自動分析プラットフォームの応用医用データ科学に関する研究
	古澤彰浩	（古澤彰浩） 1. 物理学を基盤とした数理モデルとデジタルツイン構築の応用医用データ科学に関する研究
	国田勝行	（国田勝行） 1. バイオインフォマティクスを基盤とした統合オミクス計測による分子ネットワーク解析と、病態進行予測のAIモデル構築の応用医用データ科学に関する研究
	中野高志	（中野高志） 1. 生体信号や脳神経活動の解析と数理モデルによる応用医用データ科学への展開に関する研究
知能情報システム学分野	応用知能情報システム学 特別研究 笠井 聡	（概要）知能情報システム学分野において、学生が自立した研究者として独創的かつ高度な研究課題を設定・遂行し、その成果を博士論文としてまとめることを主目的とする。人工知能およびデータサイエンスを基盤とした高度な情報解析手法を用い、医療・社会システムの研究領域において、医療課題の本質的解決に資する先導的な研究課題に取り組む。研究動向の批判的分析に基づく研究課題の設定、独創性や新規性を有する研究戦略の立案、精緻な実験・解析および考察を通じて、学術的および社会的に高い価値を有する成果を創出する。多様な専門家との協働を通じて研究チームを牽引し、困難な課題を解決するためのリーダーシップとプロジェクト遂行能力を育成する。学生は、必要に応じて、研究テーマに関連する他分野の教員から助言を受けることができる。国際学術誌への論文投稿、国際学会での発表、専門家との高度な学術的議論を通じて、国際社会に成果を発信できる研究を推進する研究者としての能力を涵養する。
		（笠井聡） 1. X線画像（胸部、マンモグラムなど）、MRI、超音波画像、音声信号、診療レポートなど各種生体検査情報を用いた、人工知能技術の社会実装の拡大につながる技術研究およびその有効性評価 2. 生成AIを通して、複数のモダリティ（画像、音声データ、読影レポート）を統合する次世代の人工知能に関する応用知能情報システム学の応用研究

2) 医療システム共創学領域

分野	授業科目名及び担当者	特 別 研 究 の 内 容 及 び 研 究 テ ー マ
バイオメカトロニクス学分野	応用バイオメカトロニクス学 特別研究 平野 哲	(概要) バイオメカトロニクス学分野において、学生が自立した研究者として独創的かつ高度な研究課題を設定・遂行し、その成果を博士論文としてまとめることを主目的とする。体内挿入型医療機器や歩行支援ロボット等のシステム開発を対象とし、新たな材料設計指針・材料設計方法や評価手法の創出を目指す。研究動向の分析に基づく研究課題の設定、独創性や新規性を有する研究戦略の立案、精緻な実験・解析および考察を通じて、学術的および社会的に高い価値を有する成果を創出する。多様な専門家との協働を通じて研究チームを牽引し、困難な課題を解決するためのリーダーシップとプロジェクト遂行能力を育成する。学生は、必要に応じて、研究テーマに関連する他分野の教員から助言を受けることができる。国際学術誌への論文投稿、国際学会での発表、専門家との高度な学術的議論を通じて、国際社会に成果を発信できる研究を推進する研究者としての能力を涵養する。 (平野哲) 1. 歩行支援ロボットや生体信号解析技術の臨床応用と社会実装に関する研究
生体材料システム学分野	応用生体材料システム学 特別研究 光田益士	(概要) 生体材料システム学分野において、学生が自立した研究者として独創的かつ高度な研究課題を設定・遂行し、その成果を博士論文としてまとめることを主目的とする。生体分子、細胞、微生物、マテリアルが相互作用する複雑な生体材料システムを対象とし、デジタルツインとの統合を見据えた新たな材料設計指針・材料設計方法や評価手法の創出を目指す。研究動向の分析に基づく研究課題の設定、独創性や新規性を有する研究戦略の立案、精緻な実験・解析および考察を通じて、学術的および社会的に高い価値を有する成果を創出する。多様な専門家との協働を通じて研究チームを牽引し、困難な課題を解決するためのリーダーシップとプロジェクト遂行能力を育成する。学生は、必要に応じて、研究テーマに関連する他分野の教員から助言を受けることができる。国際学術誌への論文投稿、国際学会での発表、専門家との高度な学術的議論を通じて、国際社会に成果を発信できる研究を推進する研究者としての能力を涵養する。 (光田益士) 1. 生体分子との相互作用が精密に制御された生体適合性材料および創傷治療システム創成に関する応用研究 2. 細菌・真菌の共培養環境における複合バイオフィーム感染メカニズムの解明と、その制御のための機能性ポリマー合成および表面改質技術の高度化に関する研究 3. 医・看・工の専門領域を横断した視点によるアドバンストスキンケア材料およびシステムの応用的研究 4. 生体分子と生体材料との相互作用機序を本質的に理解するための理論モデルおよび評価モデル開発 5. 生体材料を実社会へ展開するための社会実装科学および実装プロセスの高度化に関する研究

3) 社会医療共創学領域

分野	授業科目名及び担当者	特 別 研 究 の 内 容 及 び 研 究 テ ー マ
ウエルエイジング医科学分野	応用ウエルエイジング医科学 特別研究 成瀬寛之 藤垣英嗣	(概要) ウエルエイジング医科学分野において、学生が自立した研究者として独創的かつ高度な研究課題を設定・遂行し、その成果を博士論文としてまとめることを主目的とする。心血管疾患や精神疾患に対して、デジタルツインとの統合を見据えた新たな診断用分子マーカーや手法創出を目指す。研究動向の分析に基づく研究課題の設定、独創性や新規性を有する研究戦略の立案、精緻な実験・解析および考察を通じて、学術的および社会的に高い価値を有する成果を創出する。多様な専門家との協働を通じて研究チームを牽引し、困難な課題を解決するためのリーダーシップとプロジェクト遂行能力を育成する。学生は、必要に応じて、研究テーマに関連する他分野の教員から助言を受けることができる。国際学術誌への論文投稿、国際学会での発表、専門家との高度な学術的議論を通じて、国際社会に成果を発信できる研究を推進する研究者としての能力を涵養する。 (成瀬寛之) 1. 冠動脈疾患患者におけるハイリスクプラークの同定とリスク評価に関する研究 2. 心疾患患者における新型コロナウイルスワクチンの有効性に関する研究 (藤垣英嗣) 1. オミック解析やバイオバンクデータベースを用いたバイオマーカー探索と診断薬開発に関する研究 2. アミノ酸代謝を標的とした代謝性疾患診断薬・治療薬開発に関する研究
インクルーシブ社会共創学分野	応用インクルーシブ社会共創学 特別研究 江龍 修 宮田俊男	(概要) インクルーシブ社会共創学分野において、学生が自立した研究者として独創的かつ高度な研究課題を設定・遂行し、その成果を博士論文としてまとめることを主目的とする。インクルーシブ社会共創学を基盤として、医療デバイス設計、医療提供体制、医療情報システムの研究領域において、医療課題の本質的解決に資する先導的な研究課題に取り組む。研究動向の批判的分析に基づく研究課題の設定、独創性や新規性を有する研究戦略の立案、精緻な実験・解析および考察を通じて、学術的および社会的に高い価値を有する成果を創出する。多様な専門家との協働を通じて研究チームを牽引し、困難な課題を解決するためのリーダーシップとプロジェクト遂行能力を育成する。学生は、必要に応じて、研究テーマに関連する他分野の教員から助言を受けることができる。国際学術誌への論文投稿、国際学会での発表、専門家との高度な学術的議論を通じて、国際社会に成果を発信できる研究を推進する研究者としての能力を涵養する。 (江龍修) 1. 量子力学を基盤としたコアサイエンスが社会価値を生み出すプロセスを一般化させ、地域社会が描く医療サービスの有り様を数理科学的に導き出すインクルーシブ社会共創学に関する研究 (宮田俊男) 1. デジタル医療政策を基盤とした医療提供体制と診療プロセスを俯瞰し、動線設計・業務設計・医療DXを統合させて、質と効率を両立する医療システムを構築するための応用インクルーシブ社会共創学に関する研究

15. インターネット出願方法

1 出願手続き上の注意

- ①出願書類のうち、「研究経過報告書」、「研究計画書」、「実務経験報告書」、「就学承認書」、「出願書類チェックリスト」はインターネット出願ガイダンスの **出願書類** から印刷してください。
- ②出願登録上、一部の文字についてはエラーになる場合があります。
氏名や住所などの個人情報を入力する際に、文字が登録エラーになる場合は常用・当用漢数字を使用して入力してください。
例) 高木→高木 山崎→山崎 (ローマ数字) Ⅲ→(算用数字) 3
(丸数字) ①→(括弧書き数字、全角数字) (1)
合格通知書等に記載される文字は、入力された常用・当用漢数字を用いますので、ご了承ください。

2 インターネット出願の手順

☑手順1➡事前準備

下記①～⑤を準備してください。

①インターネットに接続できるパソコン、スマートフォン、タブレット等

OSやブラウザは、最新の状態にアップデートしておいてください。

なお、「インターネット出願ガイダンス」ページで推奨環境を公開しています。

②メールアドレス

常時利用しているメールアドレスを登録してください。

登録いただいたメールアドレス宛に、入試に関する諸通知が配信されます。

③A4サイズの印刷が可能なプリンター

「出願確認票」や「宛名ラベル」等を印刷する際に必要となります。

学校・勤務先等のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービス等でも構いません。

④「成績証明書」、「修了（見込）証明書」等の出願書類

「成績証明書」、「修了（見込）証明書」等は、準備に時間がかかりますので、時間に余裕をもって準備してください。

⑤顔写真データ

1) スーツ着用、正面上半身（胸から上、顔がはっきりわかるもの）、脱帽、背景無地にて出願時から3か月前以内に撮影した無加工・無修正のもの。

2) 縦横比＝4：3の顔写真データが必要となりますので必ずアップロードしてください。
自撮りは不可（出願時に登録された顔写真は原則学生証に使用します）。

3) データ形式はJPEG (jpeg-jpg)、画像の容量は3MB以内のもの。

☑手順2➡インターネット出願画面へアクセス

藤田医科大学ホームページにアクセスし、医工学社会共創研究科＞入試情報より、「大学院インターネット出願ガイダンス」のバナー（リンク）を押してください。

<https://www.fujita-hu.ac.jp/>

藤田医科大学

検索

☑手順3⇒入試情報の入力

試験区分、選抜方法、領域、分野、指導教員、外国語（英語）試験のスコア等を入力してください。

☑手順4⇒個人情報の入力

個人情報（氏名、生年月日、顔写真データ、住所、電話番号、メールアドレス、出身学校情報等）を入力してください。

- 顔写真データは画面上でサイズを調整して登録することができます。顔がはっきり映るよう適宜調整してください。

☑手順5⇒入力内容の確認

入力した内容に間違いがないか確認してください。登録後は、入力内容の変更はできません。

☑手順6⇒入力内容の確認後、お支払い方法の選択

入学検定料支払い後は、入力内容の変更ができません。入力内容をよく確認し、入学検定料をお支払いください。

入学検定料の支払い方法には、次の3つがあり、個人情報の登録後に支払い方法を選択します。その後、代行会社ペイジェント社の画面に遷移します。

- ①クレジットカード決済は、選択の登録を行うと同時に支払いが決定します。

最後に、**お支払い** のボタンを押してください。

本学の「インターネット出願」ではクレジットカード決済において、「3Dセキュア2.0（本人承認サービス）」を導入しています。クレジットカード決済を選択した場合、取引の不正利用検知・防止のために、登録した氏名、電話番号、インターネット利用環境に関する情報等をクレジットカード発行会社へ提供させていただきます。

なお、クレジットカード決済を選択する場合、事前にクレジットカード発行会社のサイトで「3Dセキュア2.0」の登録を行ってください。「3Dセキュア2.0」の詳細および登録方法は、クレジットカード発行会社にお問い合わせください。

※本人認証サービス3Dセキュア2.0とは、決済時にクレジットカード番号、有効期限等の情報に加え、お客さまがクレジットカード発行会社にあらかじめ登録したパスワードをご入力いただくことでカード会員さまご本人であることの認証を行うサービスです。

対象ブランド：Visa・Mastercard・JCB・Amex・Diners

- ②コンビニエンスストア、ペイジー（銀行ATM）による支払いは、代行会社ペイジェント社の画面に、支払い時に必要な番号が表示されます。

番号は、必ずメモをとるか、画面を印刷してください。最後に、**購入したサイトへ戻る** のボタンを押してください。

- ③インターネットバンキングによる支払いは、登録完了画面から選択後、案内に従ってください。

注）領収書（レシート）、取扱明細書兼領収書等は保管してください。

☑手順7⇒登録完了・検定料の支払い

ここまでの入力で、試験情報、個人情報の入力、検定料の支払いの受付は一旦完了です。

1. 「マイページログイン情報（ユーザID（メールアドレス）、パスワード、整理番号）」を必ずメモ、印刷してください。出願内容の確認、出願確認票・宛名ラベル等の再印刷に必要です。

2. 検定料の支払い方法でクレジットカード以外を選択した場合は、各（金融）機関で速やかに支払い手続きを済ませてください。

- お支払いの際、入学検定料を支払った整理番号の出願書類しか受理できません。修正等を理由に、新たに登録し直した場合は、整理番号に注意して検定料のお支払いや出願書類の提出等の手続きを進めてください。

☑手順8⇒出願書類の提出（直接持参、郵送）

1. 出願書類をA4サイズの下紙を使用してプリンターで印刷してください（出願書類についてはP.5～P.7「4. 出願書類」「4. 提出書類」を参照してください）。
2. 封筒（角形2号、240mm×332mm）のおもてに宛名ラベルを貼り付け、出願書類を封筒に入れ、大学院医工学社会共創研究科 入試係まで書留速達郵便で送付していただくか、直接持参してください（締切日必着）。

3 受験票の印刷

☑手順1⇒インターネット出願画面へアクセス

- ②インターネット出願の手順の☑手順2と同様の手順で「インターネット出願ガイダンス」の画面にアクセスしてください。

☑手順2⇒ガイダンス画面の「マイページ」へログイン

- ①ガイダンス画面トップの **マイページ** ボタンを押してください。
- ②登録したID（メールアドレス）、パスワードを入力して、 **ログイン** ボタンを押してください。

☑手順3⇒受験票の印刷

- 申し込み一覧の各種確認から **受験票** ボタンを押し、表示される受験票を印刷してください（大学から郵送することはありません）。
- 印刷した受験票は、受験及び入学手続の際に必要なため、各自大切に保管してください。

16. 受験上・修学上の配慮を希望される方へ

本研究科に入学を志願される方で、障がいや病気、負傷等のために受験上及び修学上の配慮を希望する場合は、出願の前に以下の手順により事前相談・配慮申請を行ってください。

〈事前相談・配慮申請の流れ〉

(1)電話による申込

あらかじめ下記の入試係まで電話（0562-93-2895）による申込を行ってください。

- 日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、事前相談をしてください。

(2)申請書類の提出

各試験日程の出願締切日の2週間前までに下記の入試係まで申請してください。

- 本学ホームページ（TOP＞医工学社会共創研究科＞入試情報にアクセスし、所定用紙（受験・修学上の特別な配慮申請について）から書式をダウンロードし、必要事項を記入してください。また、添付資料として「医師の作成した診断書の写し」、「身体障がい者手帳の写し（※該当者のみ）」を準備し、一緒に提出してください。

(3)配慮事項決定通知について

- 提出された申請書類に基づき、申請内容を精査し、措置の可否や配慮事項等の内容を決定後、配慮事項決定通知書を送付します。出願は本研究科からの通知を受けた後という手順となります。決定に時間を要する場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。
- 配慮内容によっては、入試係より連絡することや事前に面談を行なうことがあります。
- 出願書類を提出する際、本研究科が送付した「配慮事項決定通知書」のコピーを同封してください。

- (4)不慮の事故や急な発病等のために、申請期限までに申請ができなかった場合についても、可能な限り入試係まで電話連絡してください。

注意 入学試験の実施形態や配慮希望内容によっては、あるいは申請期限後に申請した場合、希望通りの配慮が行えないことや代替の配慮を行うことがありますので、予めご了承ください。

(5)配慮申請受付場所・問い合わせ先

〒470-1192 愛知県豊明市杣掛町田楽ヶ窪1番地98 大学2号館3階

藤田医科大学大学院 医工学社会共創研究科 入試係 受験・修学上の配慮申請担当

(月～金) 9:00～17:00 土曜・日曜・祝日・開学記念日(10/10) など学内休日・年末年始(12/29～1/3)は受け付けていません。

TEL: 0562-93-2895

17. 受験者注意事項

- 受験の際は、必ず受験票を携帯してください。
- 試験開始後20分以上遅刻した者は試験室に入ることできません。
- 試験会場では、スマートフォン及び携帯電話は、電源を切ってカバンの中に入れてください。
(試験時間中、スマートフォン、スマートグラスや携帯電話等の電子機器類を使用した場合は、不正行為と見なします。また、身につけていたり手元にあった場合、使用の有無にかかわらず不正行為となることがありますので、注意してください。)
- 試験室の入室は9時00分から可能です。
- 試験会場の下見については、建物内への立ち入りはできません。会場までの交通機関、道順、所要時間、建物の位置の確認に留めてください。
- 急な病気等で通常の試験室での受験に支障がある場合は、事前に連絡してください。
身体上の障がいや疾病等により、受験・修学に際し特別措置を希望する場合は、事前相談が必要です。出願締切日の2週間前までに大学院医工学社会共創研究科 入試係まで申請してください(P.16～P.17「16.受験上・修学上の配慮を希望される方へ」の内容参照)。
- 試験当日は原則、公共交通機関を利用してください。その際、降雪等による交通機関への影響などに留意し、遅刻しないように十分注意してください。
- 試験室においては、すべて監督者の指示に従ってください。

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症にかかった場合の対応等について

- 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・はしか等)にかかり、治癒していない場合、その感染症が他の受験生や監督者に拡がるおそれがありますので、受験をご遠慮願います。なお、受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として入学検定料の返還は行いません。
- なお、感染症の感染状況によっては記載されている試験内容と異なる方法で選抜を実施することがあります。変更が生じた場合は本学のホームページにて随時公表いたします。

18. 入試に関する個人成績の開示について

入学試験（学力試験）の個人成績について、受験生本人（不合格者に限る）から申請があった場合に限り次の要領で開示します。

1) 開示内容

学力試験の得点、平均点

2) 申請期間

2027年5月3日（月）～2027年5月14日（金）

申請期間内の消印があるものに限り受け付けます。なお、開示は2027年6月7日（月）からとします。

3) 申請書類

(1) 学力試験個人成績開示申請書（本研究科ホームページよりダウンロード）

(2) 受験票（コピー不可）

(3) 返信用封筒

宛名を明記した**定形封筒**（市販の長形3号120mm×235mm）に切手460円分を貼付してください。簡易書留にて返信します。

4) 申請先

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1 番地98

藤田医科大学大学院 医工学社会共創研究科 入試成績開係（大学3号館1階）

(注)1.申請に際して、本人確認のため受験票が必要になりますので、大切に保管してください。

受験票を紛失した場合は、如何なる理由でも開示しません。

2.受験票は成績に同封して返却いたします。

19. 個人情報保護について

個人情報保護に関して、藤田医科大学大学院医療科学研究科では次の通り扱います。

1) 利用目的

出願にあたり提供された氏名、住所、電話番号等の個人情報は、次に掲げる目的のみに利用します。

(1) 入学者選抜、合格発表、入学手続等、入学までの一連の業務を行うため

(2) その他、本大学院の教育・研究、学生支援に必要な業務を行うため

2) 第三者への個人情報の提供について

個人情報の第三者への提供は、次に掲げる場合に限ることとします。

(1) 本学大学院医工学社会共創研究科入学者について、名簿作成及び各種連絡通知等を使用するために藤田学園の同窓会等に提供する場合

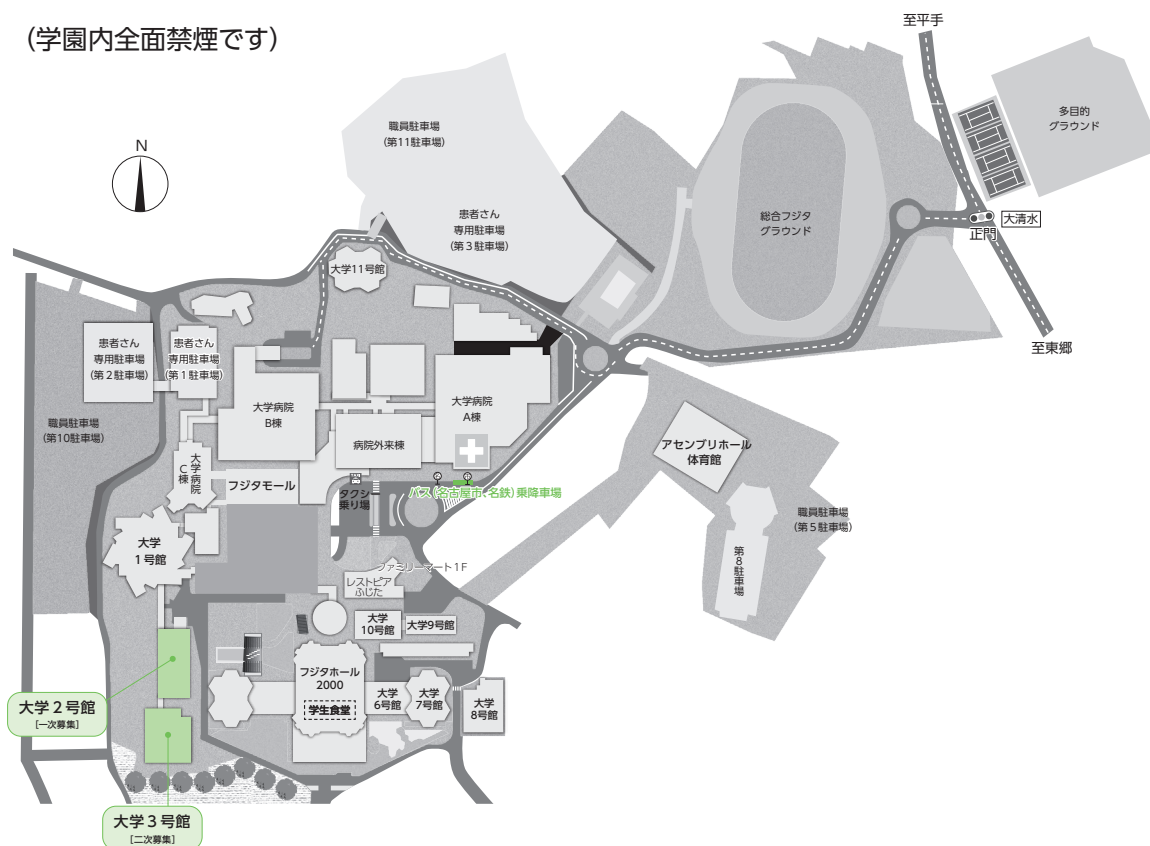
(2) 法律で定められた適正な手続きにより情報開示を求められた場合

(3) クレジットカード発行会社が行う不正利用検知・防止のために、氏名、電話番号、emailアドレス、インターネット利用環境に関する情報等を、クレジットカード発行会社へ提供する場合（利用されているカード発行会社が外国にある場合、これらの情報は当該発行会社が所属する国に移転される場合があります）

20. 試験会場地図

試験会場：本学 大学3号館（一次募集）
大学2号館（二次募集）

（学園内全面禁煙です）

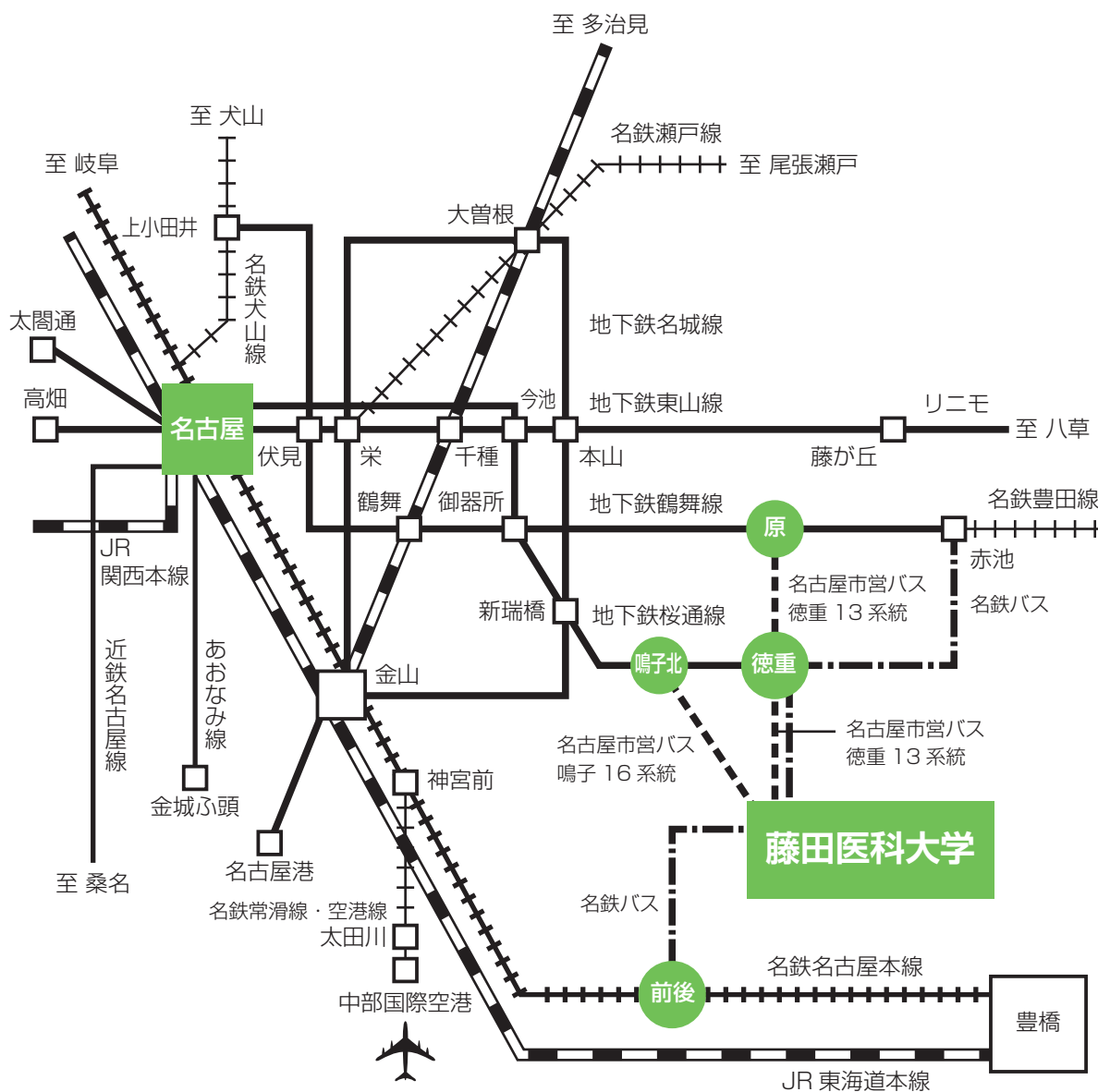
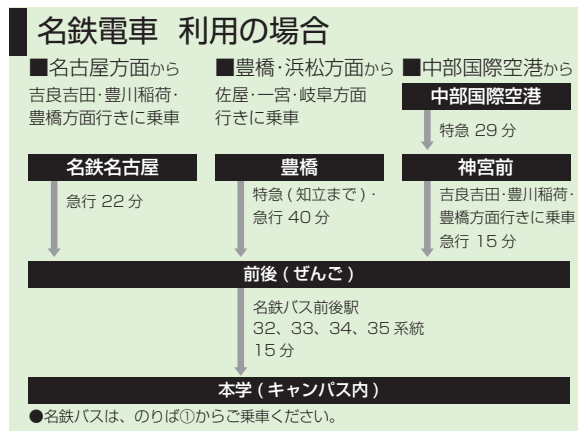
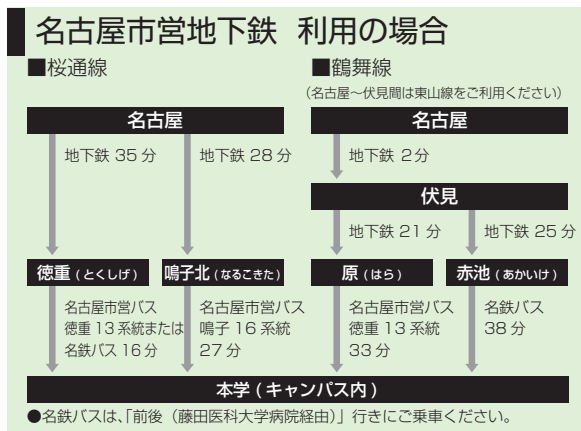


試験当日は、会場案内に従って、指定の校舎で受験してください。

- 試験当日は、学内が混雑しますので公共交通機関でお越しください。
学内には受験生用駐車場はありません。

21. 交通案内

公共交通機関でお越しの方は



FUJITA HEALTH UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICAL ENGINEERING FOR SOCIAL CO-CREATION

2027



藤田医科大学大学院医工学社会共創研究科

FUJITA HEALTH UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICAL ENGINEERING FOR SOCIAL CO-CREATION

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

入 試 係 TEL:0562-93-2895 FAX:0562-93-4593

(土曜・日曜・祝日・開学記念日(10/10)など学内休日・年末年始(12/29～1/3)は受け付けていません)